

第75回 神奈川文化賞・スポーツ賞 贈呈式

2026 **11.3** 文化の日
(火)

神奈川県立音楽堂

開場14:00 開式14:30

祝賀演奏

管弦楽 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

指揮 阿部 未来

曲目 グリンカ：歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲

大橋晃一編曲：神奈川名曲メドレー

ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界から」より 第2楽章、第4楽章
ほか

900名様 無料ご招待

お一人につき2名様までのお申込みが可能です。

申込み方法

インターネットによる申込み

神奈川文化賞・スポーツ賞



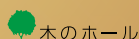
電子申請システムより、必要項目をご入力ください。

募集期間

第1回抽選分 7月17日(金)～9月15日(火)

第2回抽選分 9月25日(金)～10月15日(木)

*応募者多数の場合は、抽選となります。 *未就学児童のご入場はご遠慮ください。
*申込みに係る個人情報は、本事業に関する業務以外の目的では使用しません。



主催：神奈川県 神奈川新聞社 共催：神奈川県立音楽堂【指定管理者：公益財団法人神奈川芸術文化財団】

神奈川文化賞・スポーツ賞とは

戦争の傷跡が随所に見られた昭和26年晩秋、当時の神奈川新聞社主筆故川崎萬博氏が県教育長を訪ね、次の提案をしました。「郷土神奈川を混乱と動揺から守り抜くには、教育・学術をはじめ、いっさいの文化の再建に50年100年かかっても、根気強く努力し続けていかなければならない。いや、単に再建だけではなく、さらに積極的に文化水準の向上をめざす必要がある。こういう見地から神奈川文化賞を制定し、毎年すぐれた文化功労者、しかも郷土永遠の繁栄の指針となるような業績に輝く人物を表彰していきたい。」

県教育長がこのことを内山岩太郎知事に報告したところ、知事も大きな賛意をもってこの提案を受け入れ、神奈川新聞社と県との共同事業として表彰事業を行うこととなりました。

この表彰事業の準備を進めていく中で「文化」の意味は、戦争を除くすべての人間活動の成果と解釈され、対象は各分野にわたり広く設定され、さらに、スポーツの向上に寄与し功績顕著な個人・団体に贈られる「神奈川スポーツ賞」を制定しました。

平成13年には、功績顕著で今後の活躍が大いに期待される若い世代に贈呈する賞として、「神奈川文化賞未来賞」を新たに創設しました。

2025年（昨年）度の受賞者

2026年度への受賞者は10月中旬以降に発表します。（敬称略 分野別・五十音順）

神奈川文化賞



● 学 術 ●

日本のフェミニズム分野の
第一人者

えはら ゆみこ
江原 由美子



● 産 業 ●

日本のゲーム業界黎明期を
築き、その発展に貢献

さかい ただやす
襟川 陽一



● 文化活動 ●

近代美術の研究と評論に
尽力

さかい ただやす
酒井 忠康



● 芸 能 ●

声優業の草創期から
現在まで第一線で活躍

のざわ まさこ
野沢 雅子

神奈川文化賞 未来賞



● 文 学 ●

小説家として活躍

つじどう
辻堂 ゆめ



● 芸 能 ●

脚本家・小説家として活躍

よしだ えりか
吉田 恵里香

神奈川スポーツ賞



©神奈川VANGUARDS

● 車いすバスケットボール ●

神奈川VANGUARDS



● スポーツクライミング ●
（ボルダラー）

国民スポーツ大会
スポーツクライミング競技
少年男子神奈川県チーム



● テニス ●

湘南工科大学附属高等学校
テニス部男子団体チーム



● ラグビーフットボール ●

桐蔭学園高等学校
ラグビー部



● 硬式野球 ●

横浜高等学校
硬式野球部